

著書紹介

著者自らが新刊を紹介します。

PRODUCER English Expression ① 英語表現 I

文学部・教授・
樗木 勇作(共著)

- ▶ A4判 ▶ 140ページ
- ▶ フォーイン スクリーンプレイ事業部
- ▶ 575円(内税)
- ▶ 2018年2月28日発行
- ▶ 文部科学省検定済教科書(高等学校外国語 英語表現I)。生徒たちの実生活に結びついた身近なテーマに関して、映画のシーンも取り入れ、積極的に英語で発信できるよう、語彙や表現をしっかりマスターしてからSpeakingやWritingへと4技能の向上に配慮して構成されている。



いろいろある コミュニケーションの 社会学

創造表現学部・講師・
松井 広志(共編著)

- ▶ A5判 ▶ 164ページ
- ▶ 北樹出版
- ▶ 1,900円+税
- ▶ 2018年4月25日発行
- ▶ 「いろいろある」身近な日常のコミュニケーションから考える社会学の入門書。講義を想定して多様な事例を解説した第1部、調査・分析の方法を示した第2部、最終成果物のイメージを提供する第3部からなる。各章末にはSNS風のコメントを掲載するなど、形式上の工夫を凝らした。



体育・スポーツ書集成 第II回 戦後学校武道指導書 全五巻

健康医療科学部・准教授・
矢野 裕介(共編著)

- ▶ A5判 ▶ 全5巻
- ▶ クレス出版 ▶ 66,500円+税
- ▶ 2017年11月25日発行
- ▶ 武道が禁止されていた昭和20年代、先人達が「伝統としての武道の何を残し、何を民主化し、文化として残そうとしたのか」、自問自答しながら作り上げられた「学校武道」の手引書とその解説書を採り上げた貴重資料集、およびその解題。



体育・スポーツ書集成 第III回 国民体力向上関係書 全八巻

健康医療科学部・准教授・
矢野 裕介(共編著)

- ▶ A5判 ▶ 全8巻
- ▶ クレス出版 ▶ 108,800円+税
- ▶ 2018年5月25日発行
- ▶ 昭和13(1938)年内務省から分かれて厚生省が設置された。その第一の目的が「体力」の国家管理であった。各巻の資料から、国家を挙げての体位・体力向上に努めようとする政策がうかがえる貴重資料集、およびその解題。



あの人はどうしてそうしてしまうの？

—身近な7つの扉から入る
心理学の世界

人間情報学部・講師・
安田 恭子(分担執筆)

- ▶ A5判 ▶ 224ページ
- ▶ ボラーノ出版
- ▶ 2,000円+税
- ▶ 2018年5月16日発行
- ▶ 身近な行動から「つきあう」「恋する」「育つ」「学ぶ」「記憶する」「悩む」「見る」を取り上げ、人がどういうときにどういう行動をするのか、その行動のしくみはどうなっているのかを、豊富なイラストとともに心理学的な知見をかみ砕いて紹介。心理学を学んでみようと思っている方に「とりあえず最初に読んでもらうこと」を想定した。「悩む」の扉を担当。



スウェーデンに学ぶ ドキュメンテーションの活用

子どもから出発する保育実践—
福祉貢献学部・教授・
白石 淑江(編著)
福祉貢献学部・准教授・
岡田 泰枝(分担執筆)

- ▶ A5判 ▶ 232ページ
- ▶ 新評論 ▶ 2,400円+税
- ▶ 2018年5月10日発行
- ▶ 「子どもの権利」の先進国スウェーデンでは、子ども主体の保育を実践するツールとして、ドキュメンテーションを活用している。日本での活用をめざして、両国の研究者や保育者が共同でその理論と方法について解説した。

